ふれあうナカマ　育む　見守る　ちょっと近くない？

学校は地域と共に歩んでいます。宮城県内の小中学校の様子、自慢できることを、児童・生徒が紹介します。

えっ？　育む　見守る　ふれあうナカマ

わが校 わがまち スクール通信

大郷中

標語通じ仲間に思いやり

これがイチオシ

伝統の応援 心を一つに

大郷中学校の伝統の一つに、応援団による応援活動があります。これまでは新型コロナウイルスの影響で自粛しなければいけない活動も多くありましたが、本年度から多くの場面で全校生徒による応援活動が復活しています。新しい活動として、運動会での応援披露を本年度から実施しました。応援団幹部のみで行っていた独特の振り付けを3年生全員で行い、1、2年生は大きな声を出して応援をしました。短い練習期間でしたが、全校で心を一つに練習し、成功を収めました。

学校名　大郷町立大郷中学校
所在地　大郷町粕川東長崎3
創　立　2008年
電　話　022(359)2042
校　長　菊池　信行
生　徒　197人

いじめ防止意識高める

大郷中学校生徒会執行部は昨年度、全校生徒が積極的に健全育成や非行防止活動に参加することで、いじめのない規律ある学校を保っていこうと「いじめ防止標語コンクール」を始めました。

「いじめとはどのようなものか」「なぜいじめをしてはいけないのか」を一人一人に真剣に考えてもらうことで、仲間への思いやりの気持ちを持ったり、いじめを無くすために今自分にできることを考えてもらったりすることがねらいです。

昨年度は、ほとんど全ての生徒が期限の1週間以内に提出してくれるなど、意識の高まりを実感しました。特にいじめ防止に役立つと思った標語を生徒会執行部のメンバーで選び、全校生徒にむけて発表しました。生徒会長賞、副生徒会長賞など、独自の賞も設け、表彰を行いました。

生徒会長賞は「ごめんねで癒えない傷になる前に」です。選ばれた標語は、普段の生活の中で多くの生徒に見てもらい、常に意識してもらうため、毎朝生徒が通る階段に掲示しています。

階段に掲示しているいじめ防止標語

編集委員　鈴木瑛介、赤間日和、水野偲愛、今野蒼太（3年）
菅原慎吾、鹿野撞夢、鈴木釉奈（2年）　指導教員　高橋海斗

次回は
宮城教育大付小（仙台市）
万石浦中（石巻市）

多賀城東小

クラスで考え出店 宣伝も

みんな喜ぶ東っ子祭り

多賀城東小学校では毎年、「東っ子祭り」を行い、3年生から6年生までがお店を出し、学校全体を楽しませています。

ミサンガ作りやモグラたたき、体育館でのスポーツ体験など、作ったり体を動かしたりして遊べる店を、クラスで考えています。

楽しい雰囲気で遊べるように折り紙や風船で教室を飾ったり、黒板に絵を描いたりして華やかにします。迷わずにお店に行くことができるようマップも作っています。

お祭りの最中には、手持ち看板を持って校内を歩き回り、お店の宣伝をする児童もいて、校内がすごくにぎわいます。

お祭りに向けて、クラスの友達と考えを出し合い、話し合うことで、友達の良さを見つけたり、全校のみんなが喜ぶ姿を考えたりしながら計画を進めています。この活動を通して、いろいろな学年の友達と交流ができ、仲が深まることにもつながっています。

今年の東っ子祭りは、11月に行うことにしています。どんなお店が出てくるのか楽しみです。

「東っ子祭り」を楽しむ子どもたち

編集委員　佐藤ひなた、斎藤歓奈、鈴木琴美（6年）斎藤波空、田形眞彩（5年）
指導教員　柴田紀子、佐藤雅俊

これがイチオシ

地域の見守り隊に感謝

多賀城東小学校の児童が安心して学校生活を過ごすことができるのは、地域のみなさんが毎日見守り活動をしてくれているからです。見守り隊は、わたしたちが安心して学校生活を過ごすことができるように、地域住民の方同士で声をかけ合って結成されました。雨の日も風の強い日も、わたしたちを見守ってくれています。

これからも地域のみなさんへの感謝の気持ちを大切にしながら、事故やけがのない楽しい学校生活を過ごしていきたいです。

学校名　多賀城市立多賀城東小学校
所在地　多賀城市笠神5の8の1
創　立　1961年
電　話　022(362)2621
校　長　三塚　隆洋
児　童　483人